

## 普及現地情報



発信年月日：令和5年(2023年)8月3日  
所属名：東近江農産普及課東部  
番号：D23006  
部門分類：120(麦・豆・雑穀)、425(集落営農)  
発信者名：田中豊、次世代地域営農支援担当

### 大豆高速畝立て播種技術実演会を開催

7月4日、東近江市上平木町の大区画ほ場において、自動直進機能付きトラクターによる大豆高速畝立て播種実演会を東近江市八日市地域法人連絡協議会と連携し開催しました。当日は、大豆生産者や関係機関あわせて35名の参加がありました。

東近江市八日市地域の集落営農法人では、主要な品目として大豆を栽培していますが、播種時期が梅雨と重なるため、降雨による播種遅れや湿害による苗立不良、生育不足が課題となっています。さらに、大区画ほ場整備が予定されている集落においては、省力・効率的な機械化体系が必要となります。

「高速畝立て播種機」は、時速4～6kmと通常3倍の高速で、畝立てと播種を同時に行います。また、課題である播種後の降雨による湿害を回避するとともに、短期間で大面積の播種が可能となり、収量安定につながると期待されています。加えて、自動直進機能付きトラクターでのけん引作業により、作業精度の向上と省力・効率化が図ることができます。

実演会では、当課から、大豆の湿害対策の重要性と短期間での播種作業の必要性への動機づけを行い、機械メーカーから作業機の特徴について説明をいただきました。

参加した生産者は、興味深く播種作業を見学され、大区画ほ場での播種作業に関心を持ってもらうことができました。また、実演に協力していただいた集落営農法人からは、今後の導入に向けて検討していきたいとの感想も聞けました。

当課では、今後も次世代水田農業の実現に向け関係機関と連携し取り組んでいきます。



当課から取り組みの説明



作業機の説明に聞き入る生産者